

## 「平成会通信」の創刊にあたり

当法人は開設して21年目を迎えました。これもひとえに地域の皆様のご支援と職員の皆様のご協力あってのことと、心より感謝申し上げます。

高齢社会の真っただ中にある日本は世界有数の長寿国です。その一方、社会構造も変化し、地域には課題が山積しています。また、障がいや認知症などにより、身の回りのことを他人に委ねる老いの現実に、切なさや侘しさを感じている方も多いことと思います。

治療だけでは治らない「老い」。地域には、医療の先を支える「介護」が必要です。老いられた利用者様の気持ちと、それを支えるご家族の気持ちと「共に歩む」。この方のためにと想う心をもった職員さんと「共に歩む」。ご利用者の皆様に、満足感をもって一日一日を過ごしていただ

き、「希望におきて感謝に眠る一日の幸」を応援したい。それが私たちの願いです。

コロナ禍で大きく様変わりした日常。だからこそ、利用者様が心豊かに満たされるために、「介護は心」の精神を大切にしたい。そんな思いで創刊した本通信は、介護を通じて地域の皆様のお力になれる取り組みなどを発信していきます。

今日一日、その全てに一期一会の精神で、愛情と幸せと心の豊かさを感じていただける地域づくりのお役に立てますよう、「共に歩む」の理念を実践してまいります。

社会福祉法人平成会 理事長 小松 弘



# 平成会 通信

## 介護はこころ

真心と幸せ、そして心の豊かさを感じられる生活を送っていただけるよう、今日一日、その全てに一期一会の精神で臨み、「共に歩む」の法人理念を実践してまいります。

創刊号  
2021  
SPRING  
**01**

## 施設だより

平成会グループの各施設からのお便りをお届けします！



### ケアハウス なごみ松本

自然豊かな高台に立地。北アルプス連峰、松本平が一望できる最高のロケーションが自慢です。

住所 松本市寿北5-34-23  
開設 2002年 10月  
定員 40名(全室個室)



#### 全員参加の創作活動！

当施設の特徴は、全員参加の創作活動です。冬季を中心に作品づくりを進め、3月「春の文化祭」でお披露目します。毎年テーマを決め、とにかく全員で少しでも参加してつくりあげるのが、なごみ松本流。完成作品は年賀状にしています。



#### お昼の前の体操が日課

毎日お昼前に、元気な人はしっかりと立って体操をしています。ラジオ体操の第1第2、NHKのみんなの体操、スタッフ主体の体操、多いときはこの4つ。お腹をすかせて、美味しくお昼ご飯をいただきます。



#### 食事のイベントが充実！

季節ごとに、草餅や夜叉馬、干し柿づくりなど、皆様参加でのおやつ作りが人気です。作るのもですが、みんなで食べるのが一番の楽しみです。お寿司イベントやクリスマスのフルコースディナーなどのイベント食も毎年好評です。

#### 施設長より

洋裁をやっていたことがあったので、針仕事や手芸をいっしょにやっています。だから大創作活動も私が一番の率先者です。



施設長 酒井 文子さん

### 編集後記

変化する社会、進歩する介護と向き合い、ケアを必要とされる利用者様の「今日」より「明日」のよりよい暮らし実現のため、また地域で私たちができることを増やしていくための法人のチャレンジとして、事業所や職員の活動の様子をお届けします。

## 社会福祉法人 平成会

〒399-6461 長野県塩尻市宗賀1298-92  
TEL 0263-51-6610 FAX 0263-53-5828 <http://www.heisei-kai.jp/>  
Instagram <https://www.instagram.com/heiseikai/>



※新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じ、本通信の取材・編集を行いました。



コロナ禍だからこそ  
大切なコミュニケーション。

2021.2.26

## ユマニチュード創設者 イヴ・ジネストさんと、夢の オンラインミーティングが実現！

### 高度認知症ケア「ユマニチュード」 導入を推進中

知覚と感情と言語による包括的なコミュニケーション技術を実践し、常に「私はあなたのことを大切に思っています」というメッセージを発信することの重要性を教えてくれる、認知症ケアメソッド「ユマニチュード」。これは、平成会の「介護は心」に通じるもので、研修の実施を法人として推進しています。

日本で初めて、複数施設でユマニチュード導入を推進する当法人が、ユマニチュード創設者のイヴ・ジネスト氏と直接対話するミーティングが実現しました。平成会の3施設と日本ユマニチュード学会をオンラインでつなぎ、通訳として日本ユマニチュード学会代表理事でユマニチュード推進第一人者の本田美和子さんも一緒にするという夢の2時間でした。

平成会からは、ユマニチュード研修の第1クールを終えた6施設の代表が参加。各施設での変化や成果をストレートに創設者にぶつけました。とてもフレンドリーなイヴ・ジネストさんからは、腹落ちする大変貴重な、気づきのあるコメントをたくさんいただきました。

#### ユマニチュード導入推進施設

- 介護老人福祉施設 さわらび(岡谷市)
- 介護老人福祉施設 松風(岡谷市)
- 介護老人保健施設 掬水(諏訪市)
- 有料老人ホーム せせらぎ(塩尻市)
- 介護老人保健施設 わかな(箕輪町)
- 介護老人福祉施設 福寿苑(辰野町)



**さわらび 小澤さん** 3年前の本田先生の講演以来、ユマニチュードに触れてきました。ユマニチュードを使う目的を記した自己評価表を職員に配り、初めの評価と、回数を重ねた後とで、職員の気持ちに大きな変化がありました。利用者様の笑顔がたくさん出たり、うまくいかなかったケアもスムーズにいくようになったりという成果が見られています。

**ジネストさん** 日本では1割の人が変わると全体が大きく変わると感じています。3年前から続いてきたというのは理想的な展開だと思います。事前知識のある方がいらっしゃるところに研修に入ることができてよかったです。施設のわずか6名が研修を受けた後も手応えを感じてくれているということは、本当に素晴らしい。

**松風 板花さん** 研修に参加しなかったけれど実習を見ていた職員が興味を持ち、まねをしてくれるケースが出てきました。研修に参加した職員が、「こういう効果があるから、こうするんだよ」と現場で伝える場面も見られます。

**ジネストさん** 実践を見て、感じてもらうことが重要です。ユマニチュードを実践した仕事の様子を見て、他の人も「やってみようかな」と思うのは本当にいいことですね。これは未来に対する投資とってください。浸透するのに3年、5年かかるのは事実です。



イヴ・ジネストさんと本田美和子さん

**掬水 木下さん** 日々の関わりの中で、ポジティブな反応をされたとか、逆にネガティブな反応だったということ、利用者様ごとに職員が書くシートを新しく作りました。掬水はリハビリを重点的に行う施設ですが、日々のケアの中で、立つことの重要性を教わりました。現在は、立つことのメリットを重視し、ケアを実践しています。

**ジネストさん** プロとしての優しさと技術を磨きましょう。ユマニチュードは優しさを伝えることができますよと聞いても、「私はすでに優しいし、ユマニチュードなんて使わなくてもできる」と思う方もいますが、優しさがちゃんと伝わっていないことが多いのが現実です。プロとしての優しさの届け方をみんなで学んだ方がいいのです。立つことについては、「なぜ立たなきゃいけないか」を常に考え、何のためか、理由を考えることが重要。日本に来た時、車椅子の数のあまりの多さに驚きました。食卓では食卓用のいすに座るべきだし、ベッドは寝るための場所ですよ。

**せせらぎ 濱さん** 研修で、背中を支えることが本人の力を奪っていたり、オムツのあて方ひとつでも、食事の食べ方や足の動きが悪くなったりする場合がありますと知って、日々自分たちがしている介護が利用者様の負担になっている場合があることに気づかされました。研修で学んだ

※HUMANITUDEおよびユマニチュードの名称およびそのロゴは、日本およびその他の国における仏国SAS Humanitude社の商標または登録商標です。

オムツのあて方を実践してみて、その差にみんなで感動しています。

**ジネストさん** スタッフの経験を交換するという手法も効果的です。研修に出られなかった人のお手本になるように、ぜひ皆さんで頑張ってください。フランスでは、スタッフが違う施設に1週間くらい入り、自分の施設と比較して評価する手法をよく使います。結果的に施設全体の質が向上するというよい結果を得られるんです。

**わかな・福寿苑 竹松さん・名取さん** 実践してみて、うまくいかず大変だった方もいました。もともとお風呂が嫌い、ふだんも入浴までが大変な方です。研修の時もユマニチュードのケアがうまくいかず、結局いつもと反応が変わりませんでした。

**ジネストさん** うまくいかないのは、解決法をまだ見つけていないだけ。うまくいかないことがある時には、「その解決法を私たちがまだ見つけていないんだ」と思ってください。認知症の行動心理症状の95%は不安から出るものです。不安な気持ちを取り除くには「感情の記憶」を使うことが有効です。今まで行ったことがないお風呂場に連れて行くとか、それだけのことで時に問題は全部解決します。感情の記憶は根深いものですが、実はたった1回上書きするだけで、いい記憶に置き換えることはできます。でもこれは、ケアする人が特別なプロの技術を持っていないとできないものです。



### 今さら聞けない？ 「ユマニチュード」について

ユマニチュードは、フランスの2人の体育学の専門家イヴ・ジネストとロゼット・マレスコッティが開発したケアの技法です。人は「立つ」ことによって、生理学的な効果のみならず、その人らしさ、つまりその尊厳が保たれることから、4つの要素「見る」「話す」「触れる」「立つ」を「ケアの4つの柱」と名付け、

そして、ケアを一つの物語のように一連の手順で完成させる「ケアの5つのステップ」で構成するケア・コミュニケーション技法を編み出しました。理論が先行したのではなく、初めてケアの現場に赴いた2人が、1979年から現在までの現場での幾多の失敗から学び、誕生したケア技法がユマニチュードなのです。



# 平成会タイムス

2021.SPRING

## 1 コロナ禍だからこそ、共に支え合う地域社会を目指して クラスター発生施設に、法人から応援職員を派遣しました

### 新型コロナウイルスで 苦しむ介護事業所に 応援人材を派遣

全国の高齢者施設で多くのクラスター(集団感染)が発生しています。昨年からは長野県が行う「応援職員派遣支援事業」は、県内の高齢者施設で新型コロナウイルス感染症が発生した場合に、県内の他施設からの応援派遣で協力し合って職員の不足を補うもので、県内347施設から556人の登録がありました。平成会からは有志の看介護職員49名が登録しています。

今年1月に集団感染が発生した松本圏域の高齢者施設に、県の要請を受けて看護スタッフの工藤和子さんを派遣しました。家にはご主人とお子さんを残し、派遣期間は自宅から離れ、指定されたホテルでの滞在。家族の多大なる協力と理解があったから可能になった連携協力です。「主人が医療機関で働いていることもあり理解をもらえ、娘も協力的でした。主人は、普段会話が少なくて娘といろいろな話ができ良かったと」。

派遣先施設にも看護師はいましたが、年末から休みが取れていないとの



工藤さんの積極的な協力行動とその労をねぎらい、法人内での表彰が行われました

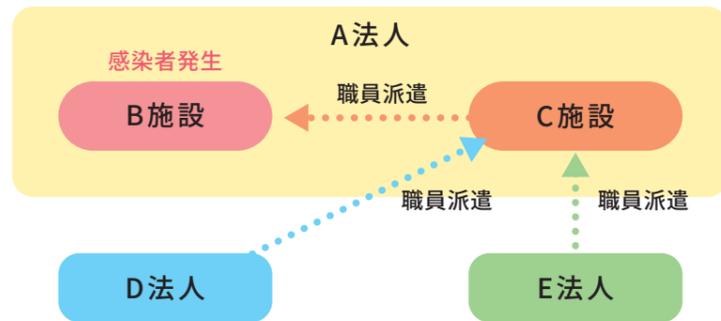
こと。「どのスタッフにも疲れはありましたが、お互いを元気づけるように明るく振る舞っていたし、温かく迎えてくださったので仕事はとてもしやすかったです。こんな状況下ではありますが、違う施設に入って働くこと自体がいい経験になりました。こういった連携はとても大事なことだと思います。」



「介護事業所ネットワーク」の応援派遣職員の第1号として奮闘した工藤さんにお話を聞きました

家族や職員をはじめ多くの人の協力で派遣業務を務められたことに、「本当に感謝しかない」と話す工藤さんでした。運営組織や施設の垣根を超えて、可能な限り協力支援することが、地域への社会貢献であると平成会は考えています。

### 介護事業所ネットワークの仕組み



県と連携して設置。2次感染拡大が起きにくいシステムとなっている。

## 2 18事業所が1年間の取り組みを発表 第10回 法人事例発表会は、初のオンライン開催となりました

### 令和2年度 事例発表会 on the web

1年間の各施設・事業所の取り組みの成果を披露する事例発表会は、普段知ることのできない他施設の取り組みを知ることができる、毎年恒例の一大イベントです。今年で10回目となるこの発表会を励みに、日々の業務改善に取り組むスタッフも増えています。

新型コロナウイルスに翻弄されつつ、感染拡大防止対策に奮闘した令和2年。事例発表会もオンライン開催となりました。利用者様とスタッフの健康を守るための各施設の工夫や改善をテーマにした発表も多く、「事例発表会 on the web」用にブラッシュアップ



された18施設の各プレゼンテーションは、どれも熱のこもった内容の濃いものでした。1事業所15分前後のプレゼン動画はYouTubeで配信され、法人スタッフ限定で閲覧。優秀な発表は法人内の投票によって表彰されました。



発表内容はどれも例年以上の完成度。「閲覧者数」も、429名を数えました。その投票も、規模の大小でカテゴリーを分けて投票格差を考慮するなど、今回のオンライン開催では、得るものがたくさんあったと感じています。

# 3

私たちの介護の専門性を地域に還元

## 警察署と協力し、職員が認知症「行方不明者」の捜索に向かいます

### 「行方不明者捜索オレンジネットワーク協定」を岡谷警察署と締結

令和2年9月30日、平成会と岡谷警察署「行方不明者捜索オレンジネットワーク協定」を締結しました。この協定は、岡谷警察署管内で認知症の方が行方不明になった時、平成会と岡谷警察署が相互に協力して捜索を行うというものです。

協定により警察と共に平成会の職員も出動し、行方不明となった方の捜索に当たります。初動捜索に協力することで、少しでも早く行方不明となった方を発見してお守りし、早く家族様に



安心していただきたいという想いで、この協定を締結いたしました。認知症の方の行動には、かならず目的、理由があります。今後は、この捜索協力活動の地域を広げていく予定です。

地域の皆さまが、認知症になっても安心して暮らし続けられる地域づくりのため、平成会にできることは何か。これからも考え続け、実践してまいります。

# 4

多文化共生の取り組みとして

## ミャンマーから技能実習生を受け入れました

### 介護老人福祉施設 福寿苑にミャンマー国籍の技能実習生を4名受け入れました

平成会は、国際貢献事業の一環として、アジア各国との連携を深めています。フィリピン人、インドネシア人看護師を留学生として受け入れ、令和2年4月には2名の介護士が誕生しました。

現在、ミャンマーやフィリピンからの技能実習生の受け入れを進めています。

平成会で初の受け入れとなるミャンマー国籍の技能実習生4名は、今年1月27日に辰野町の理解と協力を得る目的で町役場を表敬訪問。「ミャンマーには日本のような介護施設はないが、将来は高齢化で増えると思うので頑張りたい」と武居保男町長に抱負を語りました。4人は辰野町の有志が開く日本語教室にも週1回通います。平成会では、在留期間内での初任者研修の資格取得を支援します。

日本の介護技術と介護の心を海外に伝えること、そして外国人の介護技術者の育成と登用が私たちにできる国際貢献だと考えます。



辰野町役場にて。武居町長、平成会の小松理事長、花岡副理事長と実習生4名

# 注目のニュース!

## フレッシュな8名が新人研修を終えて配属



令和3年度の新人研修が、4/2(金)～9(金)の6日間にわたって湯けむり(岡谷市)で行われました。今年度は介護職5名、管理栄養士3名の計8名が新卒スタッフとして入職。初日はスーツ姿で座学を中心に、2日目からはユニフォームで実技も含めた研修を行いました。フレッシュなみなさんのこれから期待が高まります。

### 新人研修スケジュール

1日目	● 法人概要 ● 小松裕子先生の講義 ● 介護保険 など
2日目	● 認知症研修 ● ユマニチュード ● 労務 など
3日目	● 防火防災 ● 身体拘束・虐待 ● リスクマネジメント
4日目	● 高齢者を知る ● 感染症対策 ● 救急救命
5日目	● 食事介護 ● 排泄研修 ● 排泄・入浴介助
6日目	● 起居動作・移乗・移動・更衣など ● 全体まとめ筆記テスト

# 新人さんに聞きました!



### 管理栄養士

#### 横井 彩乃さん

私は食べるのが大好きなので、利用者様にもおいしい食事を提供したいです。平成会の食事は見た目からしておいしそうで、「これを作りたい」と思っていました。下積み頑張りを頑張り、信頼される管理栄養士を目指します。

### 介護福祉士

#### 淵井 まといさん

ずっとやりたかった福祉の仕事に就くことができ、今は楽しみです。私は気が長いのが長所なので、利用者様のペースに合わせられると思います。たくさん利用者様と関わって、笑顔を引き出せる介護をしたいです。

## うちの施設の自慢のこんだて

vol.01 グループホーム縁



田舎そば

この料理は、長崎県五島市富江山下地区の郷土料理です。この地域では、年越しにこのそばを食べます。こちらでは珍しい具だくさんの田舎そばです。長野県はそば処でそば好きの方が多いので、ぜひ作って食べてみて下さい。みかんの皮を薬味として振りかけるのは珍しいと思いますよ。

### 材料

- そば、鶏肉、大根、人参、ゴボウ、厚揚げ、さつま揚げ、食用油
- 薬味… ねぎ、みかんの皮(好みで柚子等でもOK)
- たれ… 水、顆粒和風だし、砂糖、しょうゆ、塩、酒、みりん

### つくりかた

1. 材料を切る。鶏肉、厚揚げは一口大に。大根、人参、ゴボウはそぎ切りに。ネギとみかんの皮はみじん切りにする。
2. 鍋に油を引き材料を炒める。
3. ある程度火が通ったら調味料を入れ、お好みの味付けをして材料に味が染み込むまで煮る。
4. その間にそばを茹でる。
5. 材料に味が染み込んだら、器にそばを盛りその上にたれを入れ、薬味をふりかけて、できあがり♪

### つくったひと

いしだ みどり  
石田 ミドリさん

